

## 情報メディア学

京都大学学術情報メディアセンター  
美濃 導彦

## 講義予定

(1)	10月 3日	オリエンテーション	美濃・奥野
(2)	10月17日	情報メディアの技術史	美濃
(3)	10月24日	情報メディアの構造	美濃
(4)	10月31日	情報、メディアとは(学説史)	奥野
(5)	11月 7日	人類史としての「情報社会」時代	奥野
(5)	11月14日	デジタルコンテンツと「イット革命」	奥野
(6)	11月28日	情報社会における人間関係の変容	奥野
(7)	12月 5日	情報社会の近未来	奥野
(8)	12月12日	座談会?	美濃・奥野
(9)	12月19日	座談会?	美濃・奥野
(10)	12月26日	情報の量と情報理論	八木
(11)	1月16日	サイバネティクスとチューリングマシン	八木

## キーコンセプト

- 情報
- メディア
- コミュニケーション
- 情報機器(アプライアンス)とその使い方
  
- 情報世界と実世界

## 情報とは？

- 情報源からの信号とそれを受ける人間が必須
- 受け取る人間により同じ信号が情報になったりならなくなったりする
- デカルトに始まる西洋科学の枠組みで扱えない

## シャノンの情報理論

- 情報を科学的に扱った理論
- 受け手を排除して信号の生起確率のみを利用
- 信号を電気信号で送るときにどのように送れば効率が一番いいか？
- 情報量、エントロピー、通信路容量などを定義

## 情報を伝えるもの:メディア

- 「メディア」の語源
  - シャーマン 霊界と人間界の媒体
- 広辞苑
  - 双方の間にたつてとりもつもの
  - あるものを他のものを通じて存在させること

## メディアの起源

- 神の創造
  - 神とのコミュニケーション
  - 権力構造
- 古代国家
  - 王の権力構造
  - 上意下達のメカニズム

## メディア

- 情報を伝える媒体
- 伝える情報とは無関係
- インターフェースとしての情報機器が必須

## 情報機器

- 情報メディアにアクセスするための機器
- メディアが伝える情報の入出力
- メディアと人間のインターフェース

## コミュニケーション

- 2つ以上の個体間で行われる情報の伝達
- コミュニケーションにより双方が変化
- 双方が知識を共有
- メディアと情報機器を用いて行われる

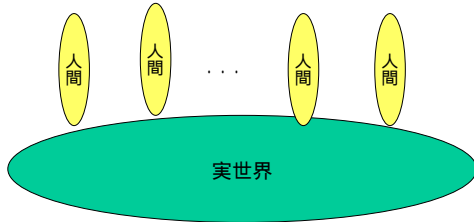
## コミュニケーション

- 出会うことが基本
  - 感覚能力の範囲内
  - 影響力の範囲内
- あらゆる感覚器を用いて相手の信号、状況を感じて情報を双方向に伝達
  - 声
  - 表情、身振り、動作
  - におい

従来のコミュニケーションパラダイム



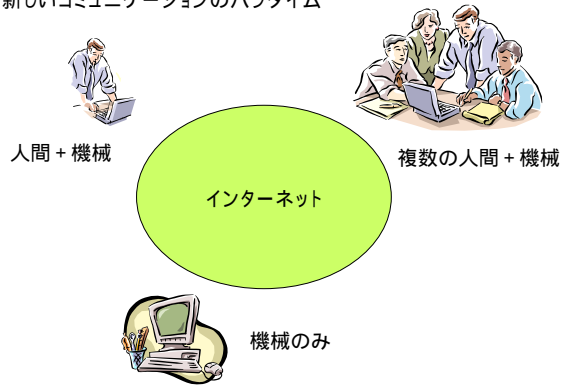
従来の社会



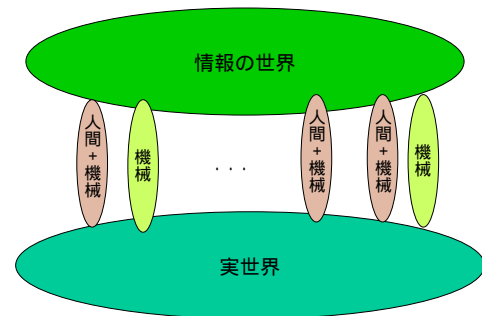
## 情報メディアを介した コミュニケーションの主体

- 人間と計算機
- 複数の人間と計算機
- 計算機のみ(エージェント、代理人)

新しいコミュニケーションのパラダイム



情報メディア学が扱う社会



## 情報メディア学の骨子

- 情報メディアそのもの
- 情報メディアの使い方
- 情報機器を持った人間の作る社会
- 情報機器と人間のインターフェース
- 情報世界と実世界の関係
- 人間の情報行動